

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和7年第34週 (8月18日～8月24日)

新型コロナウイルス感染症が流行しています

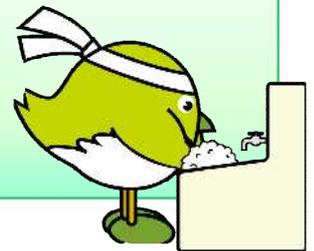
今週の竹田市調査医療機関からの報告数は74名と、先週の37名から大幅に増加しました。幅広い年代からの報告がみられ、感染が広がっています。豊肥保健所管内では定点あたり4.00人から7.40人、大分県全体では定点あたり8.03人から12.62人と増加し、流行発生注意報レベルとなりました。(令和5年8月1日より大分県は新型コロナウイルスの流行状況を、季節性インフルエンザの警報・注意報を準用しています)

新学期が始まり、人の交流が増える時期になります。引き続き、手洗い、うがい、換気を心がけ、感染を広げないようにしましょう。体調不良時は、無理をせずに休養することも重要です。エアコンを使用する際は、定期的に換気を行い、閉め切った状態が長く続かないように気をつけましょう。また、飛沫感染を防ぐために、咳が出るときはマスクを着用しましょう。マスクがない場合は、口や鼻をティッシュ・ハンカチ、または上着の内側や袖で覆う等の咳エチケットが大切です。

大分県内で腸管出血性大腸菌感染症が報告されています

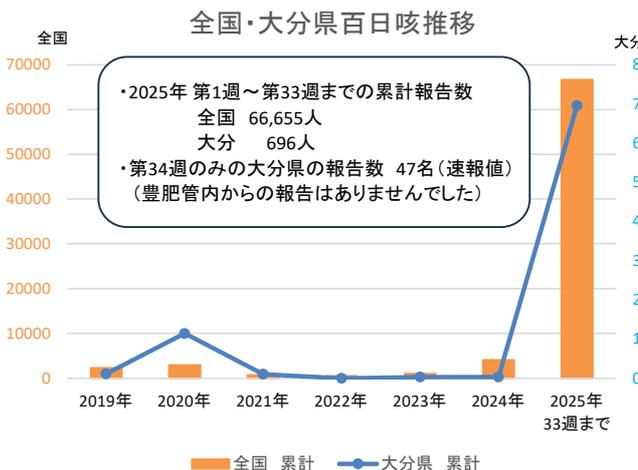
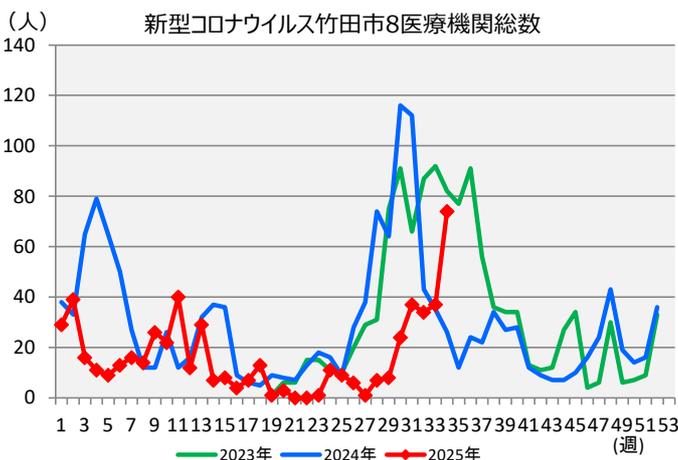
県内では、8月1日から26日までに腸管出血性大腸菌感染症の報告が6件ありました。腸管出血性大腸菌感染症は、便を介してヒトからヒトに感染したり、食品の不衛生な取り扱いが原因で、食品を介して感染が広がることがあります。感染を防ぐために、次の点に気をつけてください。

- ・調理前やトイレの後などは、手をよく洗いましょう
- ・生鮮食料品や調理後の食品を保存するときは、冷蔵庫で保管し、早めに食べましょう
- ・食肉などは十分に加熱しましょう
- ・下痢・腹痛・血便など気になる症状があるときは、早めに受診しましょう。



(第34週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つがが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳				1															
1～3歳																			
4～6歳				2										1					
7～9歳				2															
10～14歳				1									1						
15～19歳				3				1											
20歳以上				65				1											
今週				74				2					1	1					
70歳以上(再掲)				23															
先週				37				1					1						



百日せきにご注意ください

百日咳菌の感染によって、激しいせきの特徴とする急性の気道感染症です。

乳幼児では、激しいせきによる

無呼吸発作

むこきゅうほっさ

チアノーゼ

顔色や唇、爪の色が紫色に見える状態

けいれん

呼吸停止

に進展することがあります。



こんな症状がみられます

カタル期（約2週間持続）
かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

▼
けいがい
痙咳期（約2～3週間持続）
発作性、けいれん性の咳が出るようになります。合併症として肺炎や脳症などもあり、乳児では注意が必要です。

▼
回復期
激しい発作は次第に減衰し、やがて回復に向かいます。回復まで、全経過で約2～3か月かかります。

予防と対策

百日せきの予防には、生後2か月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。ただし、接種後年数が経過した人等での発病も見られます。マスク着用、手洗いなどの基本的な感染症対策を心がけましょう。



せきが続く場合は、医療機関の受診をご検討ください。

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 <https://kodomo-qq.jp/>」のサイトを参照したり、「#8000（こども医療電話相談）」にご相談ください。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

